

INSTRUCTIONS FOR USE MARÉOGRAPHE

RONDA 4310.D

INFORMATION

こちらのニューポート・マレオグラフ35周年モデルは
タイドインジケーションハンド「潮汐（ちょうせき）表示針」を搭載しています。
先端に🚢がついている針です。潮汐の周期は平均で12時間25分です。
時計の針は12時間25分で1回転し、これは平均的な潮汐周期を表しています。
満潮表示「Pleine mer」は文字盤の12時の位置にあり
干潮表示「Basse mer」は6時の位置にあります。
下げ潮表示「marée descendante」および上げ潮表示（「marée montante」）は
それぞれダイヤルの3時と9時の位置にあります。



HERBELIN

HORLOGER CONTEMPORAIN DEPUIS 1947



TWO SETTINGS METHODS FOR YOUR WATCH

この時計には、以下の2種類の設定方法があります

SIMPLIFIED SETTING（簡易設定）

- 信頼できるデータソース、ウェブサイト、または潮汐ガイドから
現在地の潮汐状態を確認してください。
※日本では以下をご参照いただけます：気象庁 潮位表
<https://www.data.jma.go.jp/kaiyou/db/tide/suisan/index.php>
- 次の潮汐の極大（満潮または干潮）を特定してください。
- この潮汐極大の時刻に、針を対応する位置（満潮または干潮）に
合わせます。設定方法は「針の設定」の段落に記載されています。
例：現在時刻は10:15、潮汐表によると、干潮は午後1:20です。
午後1:20まで待ち、6時の位置にある干潮の位置に針を合わせます。

« NAVIGATOR » SETTING FOR THE INITIATED

（熟練者向けの「ナビゲーター」設定）

潮汐表を使用して、現在の潮汐の周期内での位置を計算します。

これにより、針の位置を即座に調整できます。

例1（下記に図示）：午前10:07で潮汐表によると午後2:07に満潮があります。
したがって、満潮まで4時間です。私は「上げ潮」ゾーンの8時の位置に針を
合わせます。午後2:07には、針が潮汐表で示されているように「満潮」を表示
します。

例2：午後1:00で、潮汐表によると2時間後に干潮があります。

私は「下げ潮」ゾーンの4時の位置に針を移動させます。

これは干潮が6時の位置にある2時間前の調整です。

SETTING OF YOUR 🚢 HAND（タイドインジケーションハンドの設定方法）

針の調整モードを有効にするには、プッシャーAを約1秒間押し続けて、
針が1段階進むのを確認してください。ボタンを再度押すことで、針を
前進させ、希望の位置に移動させることができます。プッシャーを押し
続けることで、針を速く進めることができます。

注意：調整モードは、プッシャーに何の操作もない場合、10秒後に
自動的に無効になります。この時間が経過した場合、再度プッシャーを
1秒間押しして設定を変更する必要があります。